

第1回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体整備に向けた検討会〔議事概要〕

日 時	令和6年11月21日（木）18:00～20:10			
場 所	ちよだパークサイドプラザ7階会議室			
出席者	所属			出席者
委 員	施設関係者	小学校・こども園	和泉小学校	校長
			学校運営協議会	代表
			いずみこども園	園長
	地域関係者	町会	秋葉原東部町会連合会	会長
			地元町会（神田和泉町町会）	会長
		園児・児童・青少年	和泉小学校 PTA	会長
			いずみこども園 PTA	会長
			青少年委員	委員
		代替園庭利用	アイグラン保育園東神田	園長
	隣接関係者	災害拠点病院 緊急医療救護所	三井記念病院	事務長
		学識経験者	アドバイザー（地域デザイン・建築計画） 日本大学理工学部教授	山中 新太郎
	千代田区	公園管理者	環境まちづくり部 環境まちづくり総務課長	神原 佳弘
		教育委員会	子ども部 教育担当部長	○ 大森 幹夫

○ 進行役（モデレーター）

オブザーバー	和泉橋出張所、道路公園課
事務局	千代田区教育委員会事務局 子ども部 子ども施設課
コンサルタント	株式会社都市環境研究所、ラーバンデザインオフィス合同会社
議 事	・事務局による資料説明 ・事務局説明に対する各委員からの意見の聴取
資 料	次第 資料1 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会設置要綱 等 資料2 和泉小学校・いずみこども園等の施設整備について【基本構想素案（たたき台）】 資料3 過年度の準備会及び懇談会での主な意見 資料4 今後の検討スケジュール 資料5 検討会等の進め方 資料6 関係者ヒアリングの概要 資料7 和泉公園の現況と課題 資料8 施設と公園の配置形態の検討 資料9 旧和泉町ポンプ所跡地の活用について

意見等要旨

進め方・スケジュール	・このような検討会は令和元年から行われている。進むことを待っているが、まだなのかという感じがする。区の事務局には熱意をもって進めてほしい。こう進めるぞという、スローガンを導き出してはどうか。そうすれば地域にも伝わりやすい。 ・和泉公園は芝生があり、乳幼児でも利用しやすい。公園を使えない期間が長くなるのであれば、代替措置を考えていただきたい。
------------	---

	・和泉公園に校舎を新設するのは、一時的なものだと認識していたが、本日の話では仮設ではなく常設とのこと。現在の和泉公園は、病院利用者、患者にとって非常にありがたい存在。来院者は一日に千名、入院患者は400～450人程度いる。特に入院患者の環境が大きく変わることが心配。病院は和泉公園を挟んで千代田区側の道路に面しており、千代田区から来る患者のために、台東区側の正面入口とは別に、公園口にも入口を設けている。もちろん、園児・児童を大切に考えていきたいが、目先の5年・10年ではなく、20年・30年先という、将来、この地域にとってどうかたちが理想的かを長期的な視野で考えていただきたい。 →公園敷地への移転建替えを行うことについては、都市計画変更が実現するまでは決まったとは言えないが、区としてはその方向で検討を進めている。(区事務局)
公園の現況・課題	・町会ではラジオ体操に公園を利用している。 ・こども園のお迎えの際に、親子同士、公園で遊んだり、コミュニケーションをしたりしている。じゃぶじゃぶ池は重宝している。工事期間中に使えなくなることが心配。 ・災害時には病院敷地内に緊急医療救護所が設置されるが、その後、区として救護所を設置した際には、和泉公園部分もトリアージ空間として活用されるのではないか。 ・今の公園には災害対策用井戸がある。断水時に必要。病院には水を浄化する設備はあるが井戸はない。公園を整備する際には、井戸についても考える必要があるのでは。 ・土日にはテントを張って利用する子育て世代を見かける。花見の時期などは特に多い。区民スポーツでグランドゴルフも行われている。青少年委員会でポニー乗馬会も企画している。 ・ワンタッチテントを利用するのは風対策でもあると思う。この公園は、風があるときにビル風が強くなり、ほこりや土が舞い上がり痛いくらいになる。風が強い時には子どもを連れて行きにくい。 ・秋葉原の繁華街に近いことで、治安面での不安もある。小学校低学年はひとりでは行かせにくい。近くに交番があればと思うが。 ・ボール遊び禁止だが、そうしたルールがおざなりになっている面がある。休日は、フェンスのある校庭を高学年が球技に使えるようになると良いのでは。 ・代替園庭として、0～2歳の乳幼児を連れて遊びに行っている。芝生が魅力だ。ただ、トイレの入り口が道路側に面しており公園側からは見えなくなってしまう。職員が誰かついていかなければいけない。 ・プラザ1階のトイレは和式で、幼児が使うには暗く、ドアも重い。 ・運動会等のイベントで校庭を使う際は、建物内のトイレではなく公園のトイレが利用される場合が多い。移動動物園の際もそう。散歩される患者さんやタクシー運転手も公園のトイレを利用している。 ・タバコをすっている人がいる。 ・自転車に乗る練習ができる交通公園のようなものが近所に有ればいいが。北の丸公園は遠すぎる。
施設の現況・課題	・現在の施設は様々な所に不具合が出ている。空調の効きも悪い。 ・校庭が屋上にあるので、消防車等の緊急車両が入ってこられない。避難のルートも、より多くあると良い。 ・プラザ内の区民図書室は、蔵書数や古さなどが残念である。勉強したい子どもは区

	役所に行っている。
工事	・これまでの工事（三井記念病院の建替え、校庭拡張）において、児童の安全面で少し危ないと感じたことがある。特に下校時。下校時は子どもが興奮して動き回るため、安全策を考えていただきたい。 ・保育、生活している横での工事となるので、昼寝等に影響が出る可能性がある。校舎内でもかなりの音が響くので、どの程度になるか気になる。
整備の方向性	・現状の施設、公園は、様々な団体が使っている。様々な人にとって使いやすい場所になるよう検討してほしい。高齢者と園児と一緒に交流できる場所があれば良いと思う。以前には、プラザ内にMIW（男女共同参画センター）もあった。また、災害時の備蓄物資の保管場所は2階以上が良いのでは。 ・現校舎が出来た頃のことを知っている。当時、先進的な学校施設として紹介されていた。その時と今とでは、人口増、生徒数増など状況が異なってきたのだろう。公園と校庭を一体的に整備するという案には困難もあるかもしれないが、是非ワクワクするようなものになるよう検討を進めてほしい。 ・児童が授業間に移動しやすいように検討していただきたい。新しいお茶小を見てきたが、校舎内での生徒の上下移動が大変そうに感じた。 ・区民図書室のスペースを小学校の図書館として使えないか。現在は、児童数の増加に伴い、廊下に本を置いている。 ・新たな施設の配置については、こども園への送り迎えの動線をスムーズにしていただけだと保護者は嬉しい。現在は、入口から階段を登ってアクセスしている。小さい子ども（乳児）がいる場合や、雨天時は特に大変である。また、南から登園する保護者が多いため、その方向からのアクセスのしやすさを考慮した計画としてほしい。 ・学校が病院に近くなることで、子どもの声など、学校から出る音についても近くなることを考えておく必要がある。 ・公園の場所に建てるのなら、病院への配慮がなにより必要。また、学校側としても、医療施設に近いことを活かし、小学生が医療に携わりたいと思ってもらえるような、何らかのプログラムや連携を考えても良いのでは。 ・ビル風の問題は、今回、解決できると良いのだろうが、こういったプランでも病院には一定の影響は出てくる。入院フロアは7階から上であり、患者のことを考えると、圧迫感の軽減を考えてほしい。また、公園側の入口は外来患者の入口になっており、そこからの景観にも配慮してもらいたい。
公園と校庭の一体的利用	・公園側まで校庭を広げて、校庭を今より広く一体的に使えるようにするというのは良いと思うが、時間帯で校庭と公園とを使い分けるとしても、校庭については小学校の終業後でもこども園や学童が夕方まで活用している状況がある。土曜保育でも活用している。そのあたりも含めて検討してほしい。 ・校庭を野球の団体が使っている。また、いまでも校庭開放という形で開放は行っている。校庭開放のときも問題になるのが安全面。誰でも入ってこられる。セキュリティが課題となるだろう。 ・他区の事例だが、小学校の校庭と公園を兼用している例を知っている。そこで、可動式の扉を15～17時に開閉していた。そのための人の配置が必要。セキュリティの面も含め、誰かが居なければならない。不特定多数に対する監視の目が必要。

旧和泉町 ポンプ所 跡地	・子どもが遊べる場所になれば、周辺の保育園にとっても良いのでは。 ・和泉公園の多機能化として、部屋の中で出来る活動はポンプ所跡地での建物を活用し、外の活動は公園を活用するという考え方もあるのでは。（日本大学理工学部・山中教授） ・あえて学校から離れていることを活かした、様々な児童のための居場所というアイデアもあるかもしれない。 →多世代が使える会議室、ミニ図書室といった例に加え、区役所の食堂でも夕方に中高生が自習等に使っている状況もあり、中高生の居場所・自習室というニーズもありそうである。（区事務局）
総括（日本大学理工学部 山中教授）	・本計画は難易度が高いが、関係者間でお互いの配慮ができていることが素晴らしい。風の問題など、事務局側の検討に抜けている視点もあった。今後、検討していただきたい。 ・通常ハコもの計画は、まずハコである建物を考えて、その後で外回りの空間を考える。しかし今回は逆。外の空間である公園をどうするのかを、まず考えるというのがポイント。公園が皆さんの重要な共有物であるという認識のもと、引き続き公園のあり方を考えていただきたい。 ・また、公民館などの利用者が高齢者に偏っているというのが全国的な課題。ポンプ所跡地の活用については、中高生、子どもたちが利用しやすいスペースも考えてみると、多世代交流が生まれる場にもなりうる。